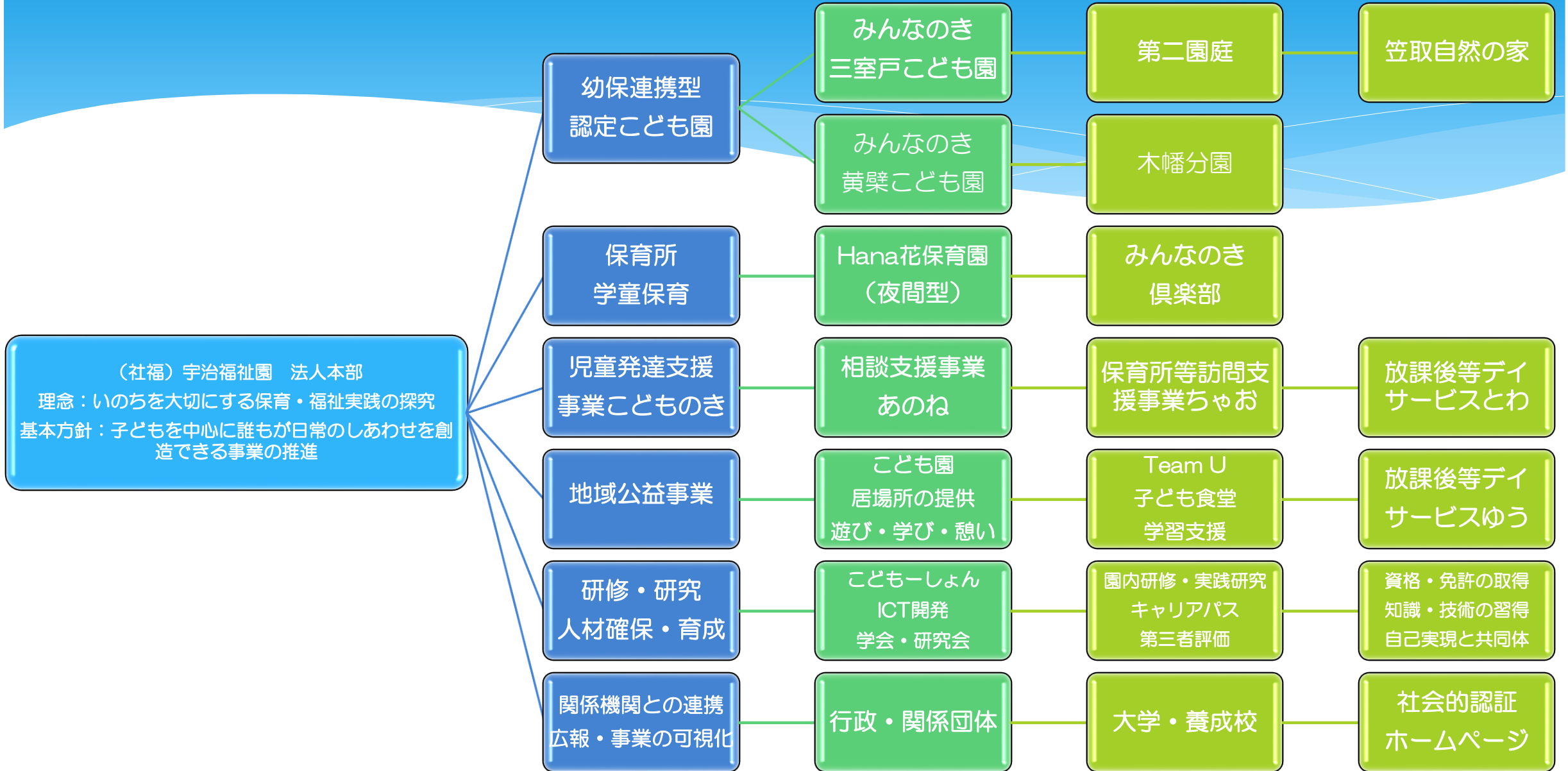


# 2019年度事業計画

社会福祉法人 宇治福祉園

# 法人の理念と各事業及び組織図



# 最初に「宇治市子ども・子育て支援事業計画」を参照する

## 基本理念

「次代（あす）を生きる子どもたちの夢と笑顔を育むまち 宇治」

- 基本目標 1 「子どもの健やかな成長・発達への支援の充実」
- 基本目標 2 「安心して子どもを産み育てられる環境づくりの推進」
- 基本目標 3 「地域で子育て支援ができる環境づくりの推進」
- 基本目標 4 「仕事と子育てを両立できる環境づくりの推進」
- 基本目標 5 「配慮を必要とする家庭へのきめ細かな取組の推進」

## 平成29年「宇治市子ども・子育て支援事業計画」度評価において、「C」評価以下の項目

### 基本目標1 子どもの健やかな成長・発達への支援の充実

- ①ハイリスク妊婦への医療機関との連携による対応（保健推進課、こども福祉課）
- ②健康教室等の参加促進と内容の充実（健康生きがい課）

### 基本目標2 安心して子どもを生き育てられる環境づくりの推進

- ①「心のバリアフリー」の推進（こども福祉課）
- ②自転車の安全な利用の推進（交通政策課）
- ③ユニバーサルデザインの施設整備の推進（こども福祉課）
- ④特定優良賃貸住宅等の促進（住宅課）
- ⑤民間施設の有効活用（商工観光課）
- ⑥施設の安全管理（大久保青少年センター）

### 基本目標3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進

- ①民間施設の有効活用（商工観光課）
- ②ファミリー・サポート・センターの充実・会員の拡充（こども福祉課）
- ③子育てサークルやNPO等による子育て支援事業の支援（こども福祉課）
- ④子育て用品のリサイクルコーナー設備やバザー開催の支援（文化自治振興課・こども福祉課）
- ⑤環境学習の促進（環境企画課）
- ⑥園庭開放など幼稚園、保育所、認定こども園による支援事業（学校教育課）

#### 基本目標4 仕事と子育てを両立できる環境づくりの推進

- ①休日保育事業の実施（保育支援課）
- ②就学前教育（保育）施設等との連携（こども福祉課、一貫教育課）
- ③育児休業制度の普及・啓発（商工観光課）
- ④一般事業主行動計画の実施促進（こども福祉課）
- ⑤商工会議所、ハローワーク等との連携（こども福祉課）

#### 基本目標5 配慮を必要とする家庭へのきめ細かな取組の推進

- ①施設、整備面での対応（保育支援課）
- ②障害のある児童等の放課後対策の充実（こども福祉課）

これら宇治市の課題、特に赤字部分の改善に向けた活動の推進に協力し、法人の理念と前年度の各事業の評価・反省に基づいて2019年度以降の事業を計画・展望します。

# 重点テーマ及び本法人の基盤強化 1. 基本方針、中長期計画

## 1. 経営基盤の強化

幼保連携認定こども園への移行に伴う、制度の理解と活用に努め、安定的かつ効率的な事務の執行、資金管理体制の強化を図る

- \* 保育所待機児童、放課後児童健全育成事業等への対応に備えた土地の取得・施設整備計画の立案と資金計画
- \* 放課後デイサービスの拡充と環境整備計画及び資金計画

## 2. 人材育成と職員処遇、労働環境の整備・改善

- \* きょうと福祉人材認証制度の上位認証に向けた人材育成システムの確立
- \* 職員給与及び労働環境等の整備・改善
- \* 事業及び各種業務の質と労働環境の両立に向けた業務の見直し及び組織の改編・体系化

## 3. 「いのちを大切に作る」という法人理念と日本の生活文化を活かした教育・保育方法の確立・発展

- \* 子どもの人権と個性、主体性を尊重する実践
- \* 豊富な生活体験を土台とする実践
- \* 豊かな情操・感性、個性的想像的創造力を愛し、表現の自由と科学する心を満喫する実践

## 4. 保育を科学的・多面的にサポート・推進するシステムの開発

- \* こどもーしょんシステムの充実・・・認定こども園への対応、業務省力と教育保育の質とを両立する様式の作成
- \* 実践研究・・・京都府保育協会、京都保育士養成研究会協働の「実習ハンドブック（仮称）」の作成。
- \* 人材ネットワークの拡張・充実・・・教育・保育の質の向上と子育て支援の充実

## 5. 子どもを真ん中にした地域公益活動・社会貢献活動

- \* 地域拠点としての活動・・・京都地域福祉創生事業「こらぶれーしょん」の推進、「みんなのきーすてーしょん」
- \* 学童保育及び放課後デイサービス、相談支援事業の一体的展開
- \* 災害時の自衛隊宇治駐屯地との協定、宇治市災害ボランティア活動への積極的参画
- \* 行政、社協、大学、養成校、他法人との連携・協働

# 事業計画の構成

- 1 基本方針
- 2 重点事業
- 3 実施計画

## 【事業の基本理念】

「いのちを大切にすること」という法人理念の下、子ども、その保護者、家庭、地域の日常が同心円的に豊かになるよう教育・保育の方法の探究及び成育環境の創造、社会貢献活動の推進に努める。

## 【使命】

- I. 一人一人の子どもと大人の生き生きとした日常を支える。
- II. 一人一人の出会いに感謝し、すべての活動を対話的に創造し、育み合う。
- III. 子どもを真ん中に、誰もが日常のしあわせを創造できるコミュニティ・社会づくりを推進する。

## 【役割】

1. 理想の教育・保育者像を目指し、質の高い教育・保育の実践・創造・探究に努める。
2. 対話は福祉や教育の原点である。豊かなコミュニケーションに努める中で、自身の人間形成に活かしながら、目の前の人との良好な人間関係を結び、ニーズの把握と丁寧な対応に努める。
3. 人的環境の一員として、技術の習得と表現力の向上について計画的に実践する。
4. 自然の恵みや身近な素材を活用し、より良い物的環境の吟味・構成・循環に努める。
5. 子どもや大人が生き生きと集い、活動し、ふれあうコミュニティや地域風土を醸成する。

## 2. 重点事業①

### 【経営基盤の強化】

- \* 幼保連携認定こども園への移行四年目を迎え、制度の熟知に努め、安定的かつ効率的な事務の執行、資金管理体制の強化を図る
  - ①公定価格におけるさまざまな加算を活用し、適切な人員体制と財政基盤の安定を図ること。
  - ②良質な教育・保育の提供と適正な保護者負担金の両立を図ること。また、徴収の際のミスがないよう1号認定の延長保育料、他市町村からの利用受け入れによる連携事務を丁寧かつ確実にを行うこと。
  - ③運営費や補助金の請求・実績報告等の事務作業の繁忙期を見定め、計画的かつ丁寧な点検を行い、業務に当たるよう努めること。
- \* 幼児教育の無償化への対応。
- \* みんなのき三室戸こども園の環境の充実及び放課後児童健全育成事業等への対応に備えた施設整備計画の立案と資金計画
- \* 新たな放課後デイサービス拠点の活用に向けての環境整備計画及び資金計画



## 3.重点事業②

【良質な教育・保育・福祉の探究と働きやすい職場づくりを目指して】

合理的かつ効率的な環境と教育・保育環境としての子どものモデル像を意識した職場環境づくり

- \* 有給休暇の取得が少ない職員への取得促進のはたらきかけ
- \* 業務の見直し及び組織の改編・体系化

平成30年度は「きょうと福祉人材育成認証制度」を更新し、継続認証を受けた。

正規職員の休日を年間93日から113日へ大幅に増やすとともに、パソコンの台数を増やし、業務の省力化に努めてきた。今年度は、さらに教育・保育及び社会公益事業など、提供する内容の質の向上と働きやすい職場づくりの両立を推進する。

①教育・保育の質の維持・向上に必要な条件の精査及びその実現に資する環境・体制づくり及び記録様式・システム等の改善

②①を推進する教育・保育マネジメント人材及び専門リーダー、新規人材・若手等の育成とキャリアパス・研修体系の整備

③業務や働き方に応じた適正な人事考課と給与体系の整備及び休日・有給休暇取得の促進

④生きがい・やりがい・誇りに繋がる活動に焦点を当てブランディングに活かすとともに、人材確保とさらなる専門性や技術・知識・見識を高めるための学位や資格取得支援及び奨学金制度の充実

## 4.重点事業③「いのちを大切にすること」という法人理念から 日常的な幸せを創造する・生活を楽しむ教育・保育へ

養護を前提とした乳幼児教育・保育

\* 養護は母性的・インクルーシブ 老若男女すべての人が受け容れられて在る世界

\* 『子どもは小さくても人間なのだから最初から心を入れて扱わねばならないし、まだ頼りない人間であるから何よりも安全を実感させてやることが大切である。子どもは自分が安全に護られている、愛されていると感じるとき、無邪気に外に向かって動き出す（養護の役割）。』

\* 乳幼児期のいのちを大切にする⇔子どもが能動的な学び手として、その「個性や能力」をのびのびと発揮できるよう、子ども時代を満喫し、一人一人の「欲求・要求・意欲・やる気」や「興味・関心・好奇心」、「探索心・探究心」、「気づき・発見の喜び」、「個性的想像的創造的表現」等、子どもの願いを実現するとともに、今日の経験が明日や未来に生きて繋がる教育・保育活動を目指す。

## 環境を通じた乳幼児教育・保育・・・能動的学び手として子どもの主体性を尊重する保育方法

- 教育の三要素である①世界づくり、②仲間づくり、③自分づくりの観点から

①世界づくりは、喜びを享受し、世界を愛し、よりよい世界をつくる道である。

②仲間づくりは、人を愛し、よりよい共生、共同体をつくる道である。

③自分づくりは、自己の生きがいや生きる価値を見出し、自らの生を全うする道である。

『子どもの発達には、それゆえに、子どもがおとなの助けを借りながら自分のからだを使って行う新たな自己と世界の探検と発見の旅であり、この子どもの画期的な体験を支援してやるのが本当の教育的な援助である（和田修二氏）』

日常生活体験の充実から芽生えたひらめきや思いつきから、子どもにとっての意味性、物語性のある（子どもの生の共同者として）、詩情に満ちた日常芸術性あふれる保育活動、体験とプロセス重視のアクティブ・ラーニングを実践方法として確立していきます。

## 5.重点事業④

### 【保育を科学的・多面的にサポート・推進するシステムの開発及び新規ツールの活用】

平成30年度は「こどもーしょんシステム」に平成30年に施行の認定こども園教育保育要領、保育所保育指針、幼稚園教育要領、京都版保育所第三者評価項目・基準ガイドライン等の内容を反映した。

今年度はさらに、教育・保育の良質化と業務の効率化を目指し、さまざまなICTプログラムやアプリケーションの活用チャレンジし、実践に反映できるよう努める。

- \* 良質な教育・保育の条件とは何か、そのために必要な教育・保育指導計画や子どもの育ち・活動記録等について焦点を絞り、誰もが質の高い教育・保育実践へアクセスできるよう努める。

## 6.重点事業⑤

【子どもを真ん中にした地域公益活動・社会貢献活動】

2019年度も「京都地域福祉創生事業 こらぶれーしょん、保育園へ遊びにおいDay」を京都府社協と連携・協働のもと実施します。年50回程度行う。

(1) 「憩い場」

くつろぎ・交流スペース。栄養士による手づくりクッキーに湯茶を無料で提供。日ごろお茶をいただく暇も余裕のない親御さんの、親子共々の仲間づくりや、気軽な子育て相談の場として活用。

(2) 「遊び場」

当法人の保育の特色である、手づくり環境、つくる・描く遊び、運動・泥んこ等のダイナミックな遊び、乳児コーナー等を設け、赤ちゃんから大人まで自由に遊びを満喫。

(3) 「学び場」

小学生以上の子どもが落ち着いて勉強がしたいとき、必要に応じて設定するスペース。学習支援やシェア・オフィスのように大人も利用できる「場」。

(4) 「利用者・協力者がつくるプラスαの場」

利用者や協力者がリーダーとなってダンスやエクササイズ、土壁アートなどを楽しむ「場」。

(5) セミナーの実施

看護師によるベビー・マッサージ、臨床心理士による子育てセミナー、アーティストによる実技講習など。

(6) 子ども支援・親支援の地域共生コミュニティとして、子ども食堂、惣菜の提供、子育て用品のリサイクルなど、新規事業の充実を図る

# 生活を全体的・総合的にマネジメントできる保育の強み

● プロセスには理念が反映される

● プロセスはスタイルをつくってゆく

● 保育の特性である同行性はプロセスを共にすること  
子どもと共にライフスタイルをつくる道

## 共生のかたちを不断に探究する目覚めと創造の生涯教育の理念

- 対話～共生～平和を目指す、愛情に満ちた人間性豊かなコミュニケーション
- 「衣・食・住」を土台に、命やものの成り立ち、生きる力を育む生活体験型カリキュラム
- 生き生きと創造的想像力を発揮し、個性豊かに自己実現を目指す遊び・活動

# こども園だからこそ生活を根本に 『アイデアル・サイクル』

- I -Identity,Imagine,Idea,Inspiration : 主体性
- D -Do,Design : 行動、体験、デザイン
- E -Enjoy, Empathy , Excitement : 楽しむ・共感・感動
- A -Art ,Act : 芸術・美術・技術
- L -Lovely,Lively,Life : 愛するということ・生活リズム、

Ideal=理想 そして「愛である」

ライフ・スタイル⇒達成度よりも手間・暇をかける教育・保育を重ねていきたい

## 生きるスタイルを育む教育・保育を子どもたちと

# わたしたちが用意している環境

- \* 子どもの主体性を伸ばし、対話的・協働的に創出し続ける多様な教育・保育環境、乳児室・保育室・園庭・第二園庭・自然の家
- \* 本ものと遊びを往還する教育・保育活動⇒ごっこあそび・創造的表現活動⇔栽培・畑（第二園庭）⇔散歩⇔園外保育⇔自然体験の家⇔リクエストメニュー・エプロンタイム・クッキング・草木染・藍染・紙漉き⇔音楽家・人形劇・民俗芸能・影絵等々のアーティスト、農業士、染色家、陶芸家
- \* 社会福祉学・教育学の学識経験者、保育教諭、臨床心理士・臨床発達心理士、看護師・保健師、栄養士など、多様な職種で構成するチームワーク
- \* 地域コミュニティの創造と再生に向けた社会公益活動・・・こらぶれーしょん、みんなのきーすてーしょん



## ◎共生のかたちを不断に探究する目覚めと創造の生涯教育の観点から

- 大切なことは瞬間的な到達よりも、持続的に人間性を育み、幸せなライフスタイルを獲得していくこと
- 向善説・・・老若男女誰しも可能なこと。
- 「人間の幸せの条件とは何か。平和に向かって生きるための心情、意欲、態度はどのようにして育まれるのか。」について吟味し、教育保育を探究・創造しつづけること。

## ◎教育・保育課程及び保育における構造化・可視化が急務

- (ア) 園が設定する系統的カリキュラムの内容・計画
- (イ) 子どもの自由な活動及び躍動的な展開を援助・促進
- (ウ) それらを結ぶ丁寧かつ良質なコミュニケーション・対話力
- (エ) 生成されてゆくプロセスの有り様を追跡（記録・評価）  
保育の特色であり強みである
- (オ) 食育、生活習慣の涵養
- (カ) 保護者支援等々

良質な保育が実現する諸条件等について学び、喜び、

「自身の保育実践を語ろう！！」

保育の平面図 = 環境構成と子どもの活動・コミュニティを俯瞰的に観る

保育の立面図 = 子どもの活動及びコミュニティの活動の発達・発達領域を断面的に観る

心のチャート = 子どもの人間関係及び心の形・情動を観る

最近接発達領域を考慮してチームマネジメントする

**遊びや生活の鮮度を保つ条件**

- 創造・表現の循環
- 感動・夢中の循環
- 好奇心・探究心の循環
- 感覚・身体的快感の循環
- 健康・充実の循環

日常のアーティスト・科学者

幸せに生きるスタイル

スタイルはプロセスに反映する

生活スタイルを教育保育内容へ

中道から能動へ移る時間的ゆとりの保障

内発的動機付け

飛び入り、パッチワーク的人事、細切れ時間割への配慮

キャリアパス・研修・自己修養

世界づくり

環境層を豊かにする環境構成・スキル・スタイル

人間層を豊かにする保育方法・スキル・スタイル

人間社会・生活の土台にある「環境層」「人間層」と保育の五領域である「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」領域を念頭に園の教育保育のマネジメントを行う保育者または保育チーム

子どもの身近なテーマは「生活」にある生活を遊ぶ子ども、体験を遊ぶ子ども

子どもの楽しも深い学びは「プロセス=時間」に由来するプロセスの一つ一つの意味から物語が生まれる物語が活動意欲や活動及び活動の産物への愛着を育む

生活を五領域で 生活は誰にでもあり、アクセスしやすい

出会う保育者の得手不得手、好き嫌い及び力量が「出会い=喜びと学び」の質・量を左右する

一人一人の保育者の内なる五領域の視点を育成する  
一人一人の特性を生かし合う保育チームの育成  
組織外と協働・連携して専門性を高める「知・技」の交流

出会い①: 環境層  
受動的出会い  
能動的出会い

- 自然 「空」「風」「光」「土」「水」「動植物」などの自然環境
- 社会 「公共施設」「交通」「設備」などの「まち」を構成する社会環境
- もの 「紙」「布」「木材」などの様々な物質環境

出会い②: 人間層  
受動的出会い  
能動的出会い

- 生活 生きるために必要な「衣」「食」「住」などの日常を支え維持するための活動
- 文化 生きがいに必要な「アート」「スポーツ」「科学」などの自己実現に貢献する活動
- 人格形成 愛着、基本的信頼、自己肯定感、共同体意識などの人格形成に寄与する活動

**保育理念: (例)「いのちを大切にすること」**  
**五領域を意識していない段階。**  
**「ヒト」として多様な生命に生かされていること**  
**豊かに生きるライフスタイルを形成し、未来へ紡ぐこと**

興味や関心が出会いを決定する

喜びや感動が出会いを深める

自分づくり

仲間づくり